

# 伊勢湾・三河湾貧酸素情報(H29-1号)

平成 29 年 6 月 19 日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

## はじめに

今年度も 6 月から 10 月まで、伊勢・三河湾の貧酸素水塊の発生状況について、現況と予測の情報を提供します。

データは、三重県水産研究所が「あさま」で実施する浅海定線調査、愛知県水産試験場が「海幸丸」、「へいわ」で実施する環境調査等の結果を利用し、月 2、3 回程度情報提供する予定です。

情報は、迅速性が求められるため、調査後速やかに提供することとしております。このため、データは速報値であり、後日、補正等で修正される場合もありますので、ご承知おきください。

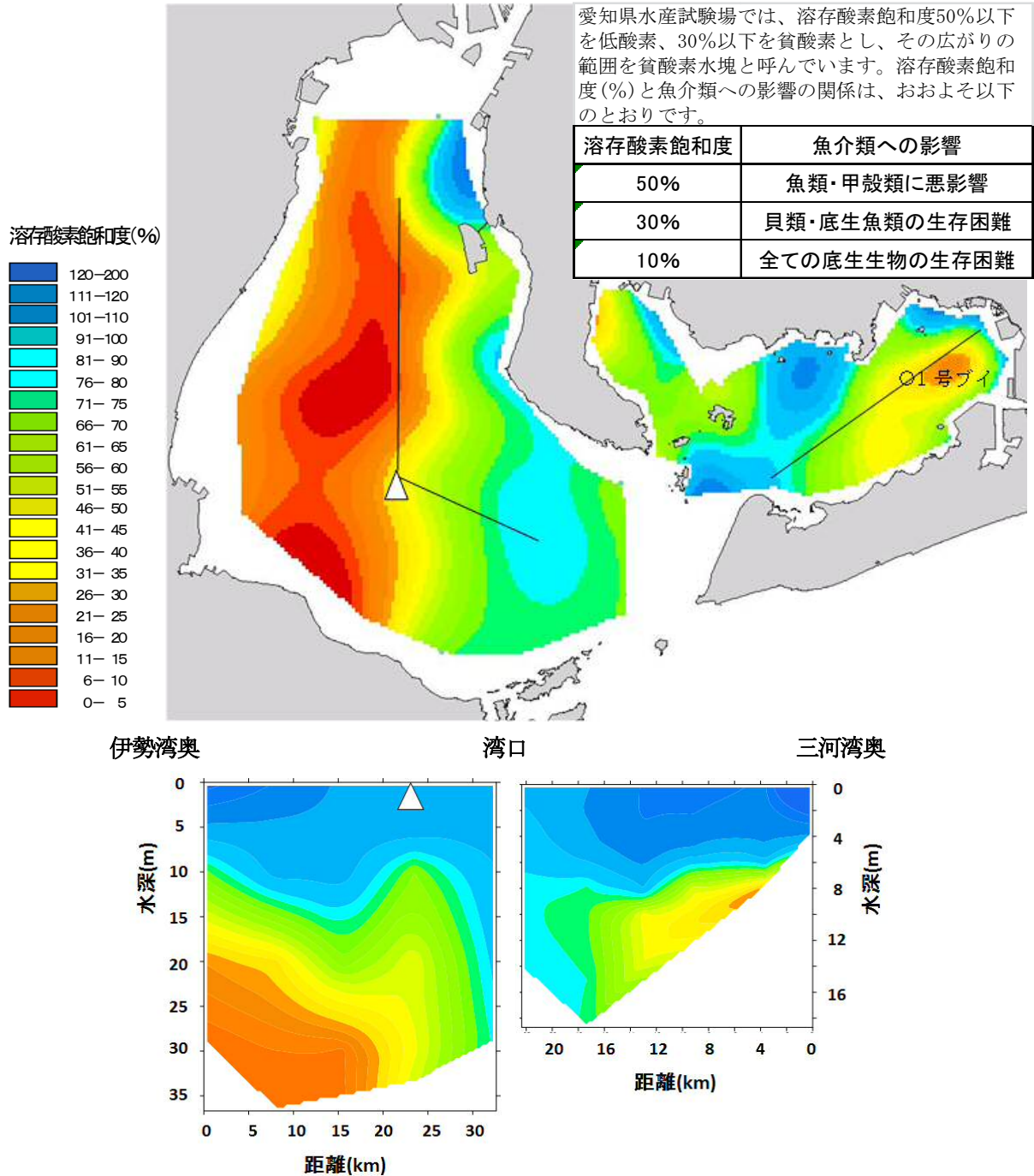


図 1 伊勢湾 (6 月 5、6 日)・三河湾 (6 月 1、2 日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

### 伊勢湾

6月5、6日の調査結果を図1に示しました。湾中央から南部にかけて貧酸素水塊が確認されました。今後は、表層の水温上昇と塩分の低下により成層が強くなり、徐々に貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表 1 調査時の水温・塩分

	水温 (°C)		塩分	
表層	18.5	～ 20.8	29.6	～ 32.4
底層	13.3	～ 18.8	31.2	～ 34.3

### 三河湾

6月1、2日の調査結果を図1に示しました。湾奥部で貧酸素水塊が確認されました。湾奥部では5月27日から28日にかけて北西から北北西の風が吹き、苦潮が発生したため、形成されつつあった貧酸素水塊は解消に向かいました。その後、再び貧酸素水塊の形成がみられています(図2)。

今後は、表層の水温上昇と塩分の低下により成層が強くなり、徐々に貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表 2 調査時の水温・塩分

	水温 (°C)		塩分	
表層	20.3	～ 23.5	29.8	～ 32.2
底層	17.7	～ 21.6	31.1	～ 33.2

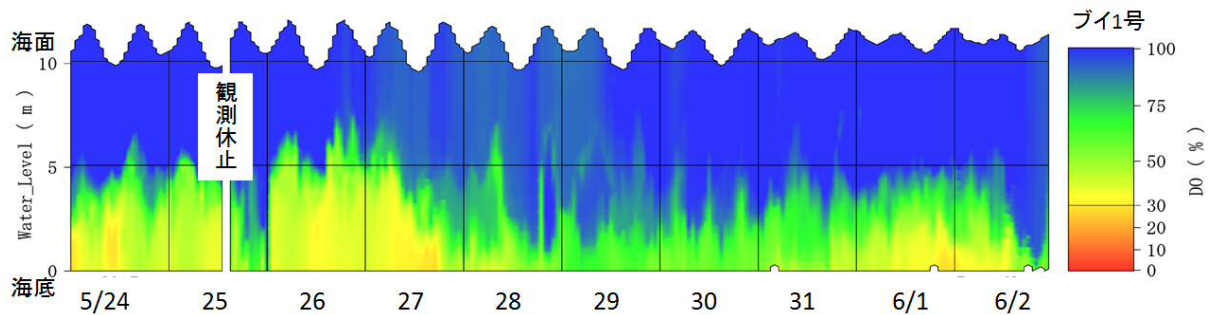


図 2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

### 参考

前年同期の両湾底層の溶存酸素状況

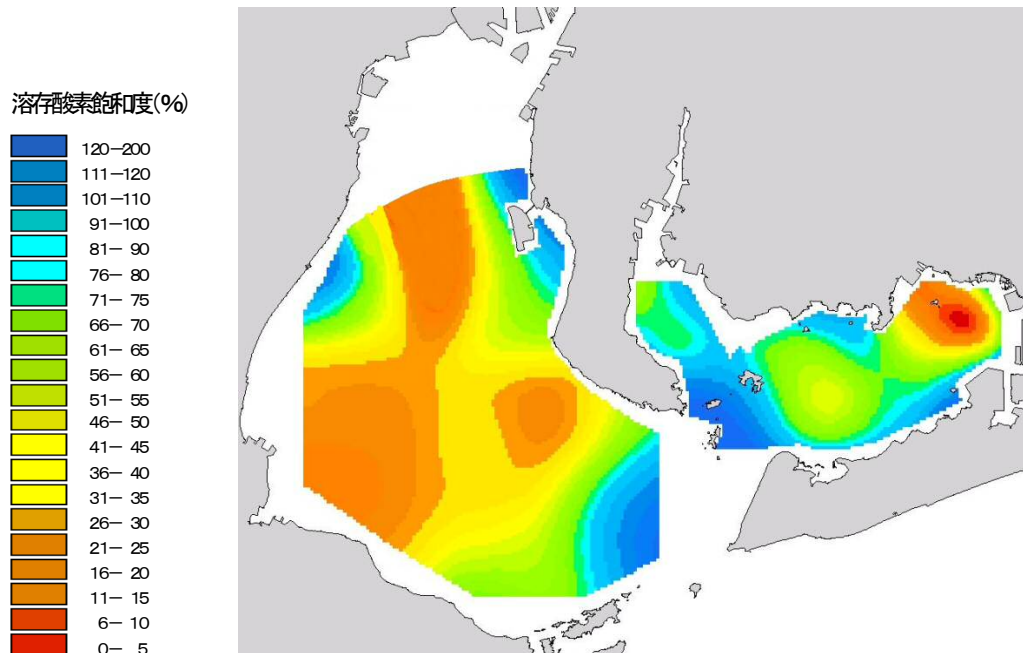


図 3 平成 28 年 6 月 6、7 日 (伊勢湾)、6 月 1、3 日 (三河湾)